

公益社団法人日本タートル協会会長 古藤高良先生を忍ぶ

昭和6年3月16日（福岡県生まれ）～令和2年10月19日（享年89歳6カ月）

公益社団法人日本タートル協会会長古藤高良先生は、日本タートル協会発足（1971年）からのメンバーであり、世界高齢者スポーツ協会の副会長でもありました。創設50年余りの協会は、社団法人から公益法人へと変更し、会長は協会の活動に多大な功績を残されました。



協会の主なイベントとしてのタートルマラソンは、50年余りの歴史があり、先生は約40回の大会の会長を務められました。伊勢での世界大会を企画され、5,000人余りの参加者で、現在の大型マラソンブームの先駆けを作られました。また、参加者の枠組みを広げる努力をされ、男性だけの大会から女性も参加する大会へと変身する布石を残され、国内の参加者に海外からの参加者を加えた国際大会、さらに障がいを持つ人々を加えたバリアフリー大会、親子で参加できる大会への変化を導かれました。老若男女、健常者・障がい者の全ての人々にマラソンを楽しんでいただく市民マラソンの発展に貢献されてきました。当協会の一大イベントである国際マラソン大会兼バリアフリーマラソン大会は、第50回タートルマラソン大会まであと少しのところ、コロナ渦で開催を見合わせていますが、会長には第50回大会で参加者の皆様と共に元気で歩いていただきたかったのが心残りです。心よりご冥福をお祈りいたします。

合掌

経 歴

筑波大学教授、環太平洋大学学長を務め、社会的活動では文部科学省大学設置審議会委員、中華民国国立台湾教育学院名誉教授として活躍されました。中華民国文化功労賞受賞歴もあります。

著書には、『身体改造法』（出版開発社）『歩くをやせる』（雪書房）『2本の足は2人の医者』（同文書院）『正しい靴の選び方』（同文書院）『ジョギングの科学』（朝倉書店）『ランニングの科学』（実業之日本社）『平成お疲れ事情』（予防健康出版社）『行歩曼荼羅』（雪書房）『エアウォークをやせる!』（講談社）『ボケと老化を防ぐ、ラバーチューブ体操』（講談社）『必ずやせる! ウォーキング』（三笠書房）があります。

